提出都道府県名	三重県
政令指定都市名	
取 組 市 町 村 名	紀北町立相賀小学校
取組団体・企業名	
取組の名称	キューピーちゃん 10 分ぐらいクッキング
	朝ごはんを作ってみよう
	AT-2 F F F F 10 F
実 施 時 期	令和 6 年 7 月 19 日
取組内容に該当する	1 かんなで楽しく 2 間ではんを 2 煮べよう 3 がくよう 4 かりすぎない きなよう 5 まくかんで 食べよう
食育ピクトグラム	
(複数選択可)	
	7 共高に 8 食べ残しを 9 応担しよう 10 食・風の (私えよう 12 食育を (私えよう (A)
取 組 内 容	キューピーちゃん 10 分ぐらいクッキング
	保健給食委員会(7名)の活動として、朝ごはんを作る動画を作成し、1学期の終業
	式で全校に公開しました。動画では、小学生でも作ることができる朝ごはんを3品作
	りました。
	1品目は『マグカップ蒸しパン』です。材料を混ぜて、電子レンジで1分半温めてで
	きあがりです。生地の中にチョコチップやジャムなどを入れることも紹介しました。
	2品目は『のり巻き』です。
	まきすを使うバージョンとラップを使うバージョンを紹介しました。
	3品目は、『フルーツョーグルト』です。
	バナナをカットして、ヨーグルトをかけます。『朝の果物は金』の話をしました。
	夏休みに親子でも朝ごはん作りに挑戦してほしいという思いから、
	動画で紹介した3品に4品を加えて、合計7品のレシピを保健たよりに掲載しまし
	た。作ることを通して、朝ごはんの大切さや作る楽しさを感じてほしいです。

提出都道府県名政令指定都市名	三重県
取組市町村名	大台町
取組団体・企業名	大台町立宮川中学校
取 組 の 名 称	自然体験学習「鮎の友釣り体験をして、鮎の塩焼きを美味しくいただこう」
実 施 時 期	6月14日(金)
取組内容に該当する食育ピクトグラム(複数選択可)	1 分析なで楽しく 2 第ではんを 3 パランスよく 4 かりすぎない 5 まぐかんで ネペよう
	7 元素に 8 余元 人と 9 点面しよう 11 和食文化と 2 年度しよう 11 和食文化と 2 年度しよう 11 和食文化と 2 年度しよう 11 和食文化と 2 年度しよう 11 和食文化と 2 年度 1
取 組 内 容	自然豊かな大台町を流れる宮川の特産品といえば鮎である。地元の方に鮎の伝統漁法である「友釣り」を教えていただいた。鮎のもっている強い「縄張り意識」を利用した漁の方法であるということや、竿の長さ、針の形などを知ることができた。なかなか釣れない生徒もいたが、思いがけず大きなアマゴが釣れた生徒もいて、楽しい友釣り体験ができた。その後、河原で火を起こし、釣った鮎やアマゴ、おとり鮎を自分で串に刺し、塩焼きにして美味しくいただいた。地元ならではの河川文化や食文化に触れ、命をいただいているこ
	とを体験する機会になった。





提 出 都 道 府 県 名	三重県
政令指定都市名	
取 組 市 町 村 名	多気町立津田小学校
取組団体・企業名	
取組の名称	自然体験学習
実 施 時 期	7月12日
取組内容に該当する	1 みんなで楽しく 2 様にはんを またよう 3 パラシスよく 4 木りすぎない ちょくかんで 食べよう
食育ピクトグラム	
(複数選択可)	
	7 共産に 8 食べ残しを
取 組 内 容	地域の方に来ていただき、4.5.6年生対象で自然体験学習を実施しました。
	地域の自然に親しみ、協力してくださる方々に感謝の気持ちを持つことをねらい
	としています。薪割をして火を起こし、飯盒でご飯を炊く予定でしたが、当日は

地域の方に来ていただき、4.5.6年生対象で自然体験学習を実施しました。 地域の自然に親しみ、協力してくださる方々に感謝の気持ちを持つことをねらい としています。薪割をして火を起こし、飯盒でご飯を炊く予定でしたが、当日は 大雨のため、急遽、家庭科室での活動に変わりました。6年生が理科で育てたジャガイモや、地域の豆腐屋さんからいただいた油揚げを使ってのカレー作りもしました。5.6年生が4年生に野菜の切り方を教えたり、初めて鍋で炊くご飯にドキドキしたりしながらも、どのグループも協力しながらうまくカレーライスを作ることができました。薪割をする体験もさせていただき、最後は、地域の方と一緒に昼食をとりました。





提 出 都 道 府 県 名	三重県
政令指定都市名	
取組市町村名	度会郡玉城町
取組団体・企業名	
取組の名称	地域の特産物を題材にした HP 作成とそのための取材
実 施 時 期	令和6年12月24日
取組内容に該当する	1 かんなで楽しく 2 前ごはんを 3 パランスよく 4 ホリすぎない 5 よくかんで 食 手を流おう
食育ピクトグラム	
(複数選択可)	
	7 実際に 8 gペ残しを 9 応援しよう 10 s・曲の 11 和食文化を 12 食育を 12 を 12
取 組 内 容	取り組み内容
	・地域の特産物である「次郎柿」について、生産者の方への取材と HP の作成。
	<u>目的</u>
	・「次郎柿」は玉城町の特産物であるが、若い人の柿離れが進みつつある。玉城中
	学校のコンピューター部の生徒2名が、「次郎柿」について知ってもらい、地元
	での需要を増やそうとPR用のHPの作成を試みることにした。
	参加者
	・コンピューター部生徒2名、次郎柿生産者の方1名、引率教諭1名 実施内容
	<u> </u>
	その後、農業用の倉庫に移動し、1年を通しての作業の説明と使用する機械、
	器具、肥料等について説明していただいた。
	THE STATE OF COLORS OF THE STATE OF THE STAT

提 出 都 道 府 県 名	三重県
政令指定都市名	
取 組 市 町 村 名	川越町立川越南小学校
取組団体・企業名	
取組の名称	三重県環境学習情報センター
	もったいない講座
実 施 時 期	12月12日
大 旭 时 粉	12 7, 12 1
取組内容に該当する	1 かんなで楽しく 2 報ごはんを 3 ガランスよく 4 かりすぎない 5 まくかんで 食べよう 6 手を洗おう
食育ピクトグラム	
(複数選択可)	
	7 東京に
_ ,_ ,	
取 組 内 容 	ねらいは、日々の食事から「持続可能な社会づくり」のために自分に何ができる
	かを考える学習です。
	最初に、絵本「もったいないばあさん」の読み聞かせを聞きました。
	その後、カレーライスを作るためには、お米や野菜のほかに働く人や機械が必要
	であることを学びました。
	各グループにカレーライスの材料が1種類ずつ配られ、そのシートを見ながらど
	こで水やお金が必要となり、人が関わるかを考えました。水、お金、人のつなが
	りについて各グループが発表し合いました。食事を残すことは「もったいない」
	だけではなく、「お金」や「人の気持ち」を大切にしていないことに気づくことが
	できました。
	最後に、「もったいないことしないぞ宣言」を書きました。子どもたちからは、
	「食べ物を残さないようにする」「苦手なものでも少しは食べる」などの意見が
	出ました。

提出都道府県名	三重県
政令指定都市名	
取組市町村名	南牟婁郡紀宝町
取組団体・企業名	紀宝町立神内小学校
取組の名称	稲作体験学習
実 施 時 期	通年 (4~12月)
取組内容に該当する	1 かんなで楽しく 2 倒ごはんを 3 パランスよく 4 木りすぎない 5 よくかんで 食べよう 6 手を洗おう
食育ピクトグラム	
(複数選択可)	
	7 東京に 8 食べ残しを 9 高階と 10 株 4 株をしよう 11 株 2 大 2 大 3 大 2 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大
取 組 内 容	稲作体験学習として、田植えから収穫まで児童が関わっている。
	収穫された米を使って、「米作り感謝の会」を開催した。
	米作りにかかわってくださった地域の方々を招待し、おにぎりをみんなで作り、
	会食をした。

提 出 都 道 府 県 名	三重県
政令指定都市名	
取 組 市 町 村 名	多気町立勢和小学校
取組団体・企業名	
取組の名称	「おまめさんかなぁ」プロジェクト
実 施 時 期	(A.A.)
実 施 時 期 	
取組内容に該当する	1 かんなで楽しく 2 様ではんを 3 かくよう 4 木りすぎない 5 よくかんで 6 手を洗おう
食育ピクトグラム	
(複数選択可)	
	7 光報に 8 女ペ残しを 9 応報しよう 10 本語の 11 和食文化を 12 推進しよう 12 推進しよう
取 組 内 容	全校児童 202 人が、生活科や総合的な学習の時間(ささやまタイム)に、地域
	の方にお米や大豆、さつまいも、豆腐、味噌づくりを教えていただいています。
	6年生は、1年生からの学習のまとめとして、自分たちで作ったお米や大豆、
	味噌を使った献立を考え、勢和小定食作りをしています。体験的な学習を通して、
	地域の食文化を知り、その豊かさを感じ、食物への感謝の気もちを育てるよう取
	り組みをしています。
	1年 大豆植え、さつまいも植え、さつまいも収穫
	2年 大豆植え、きなこ作り(予定)
	3年 大豆植え、豆腐作り (予定)
	4年 大豆植え、味噌作り (予定)
	5年 お米作り(しろかき、田植え、稲刈り、はざかけ、脱穀、とおみ)
	6年 6年間の活動のまとめ、勢和小定食作り(予定)

提 出 都 道 府 県 名	三重県
政令指定都市名	
取 組 市 町 村 名	菰野町立千種小学校
取組団体・企業名	
取組の名称	田植えをしよう
	米を育てよう
実 施 時 期	5月8日
取組内容に該当する	1 分人なで楽しく 2 様ではんを 3 パラシスよく 4 かりすぎない 5 食べよう 6 手を洗おう
食育ピクトグラム	
(複数選択可)	
	7 以前に 8 食べ残しを 9 応報しよう 10 食・曲の 11 和食文化を 12 食育を 推進しよう
取 組 内 容	地域住民と協力をして農業体験をすることや、日本の食文化に関心をもつことを

地域住民と協力をして農業体験をすることや、日本の食文化に関心をもつことを 目的として行いました。対象は5年生57人です。

当日の体験は千草地区にある田んぼで行われました。広い田んぼに1列に並び、裸足で田んぼに入りました。田んぼに入る前は怖がっていた子も、入ってみると「ぬるぬるしている。」「気持ちいい。」と笑顔になりました。両隣の子と同じ間隔・タイミングで進んでいくことに難しさを感じている様子でしたが、無事植え終わると、「大きくなるのが楽しみ。」「自分たちで作ったお米を早く食べてみたい。」という声も聞こえてきました。

事前事後指導では、昔と今の田植えのちがいや、稲にはたくさんの種類があり、強くておいしい稲を作るための農家の方の工夫について学習しました。また、何度も田んぼに観察に行き、草を抜かなくてはいけないことや、たくさんの水が必要だということに気づきました。秋には収穫を行いますが、キャンプの際に自分たちで育てたお米を炊いてみたいという声もありました。





提 出 都 道 府 県 名	三重県
政令指定都市名	
取組市町村名	桑名市立在良小学校
取組団体・企業名	
取組の名称	すがたをかえる大豆~納豆ができるまで~
実 施 時 期	9月10日
取組内容に該当する	1 かんなで楽しく 2 明ごはんを 3 パランスよく 4 かりすぎない 5 よくかんで 食べよう
食育ピクトグラム	
(複数選択可)	
	7 次帝に 8 余小規しを 9 忠樹しよう 10 余・傷の 11 和意文化を 12 音音を 2 報酬しよう

取 組 内 容 【対象】3年生(62名)

【目的】3年生の学習では、国語科の「すがたをかえる大豆」、社会科の「いろいろな 仕事と、わたしたちのくらし」という単元がある。その学習の一環として、 市内の納豆工場を見学し、学びを深める。



【見学先】株式会社 小杉食品

【見学内容】工場の方からのお話「納豆ができるまで」、工場見学



「なっとうをつくるには、なっとうきんがひつようで、なっとうきんをうっている店は 全国で3けんしかないのはとてもおどろきです。」



「小すぎ食品では、1日20万パックもなっとうをつくっているそうです。」 「なっとうのねばねばはさいごはっこうするときにできるそうです。」 「(なっとうの) タレとからしがへびみたいにつながっていました。なっとうきんはスプレーでかけていました。工場の中はなっとうのにおいがしました。」 「なっとうきんをいれてなっとうになるのをはじめて知りました。」 「(工場では) まめがあつくなっていてびっくりしました。」

「えだまめがなっとうのまめとしりませんでした。」

子どもたちは、視覚だけでなく、においや温度から多くの発見をしていました。

提 出 都 道 府 県 名	三重県
政令指定都市名	
取組市町村名	いなべ市立藤原中学校
取組団体・企業名	
取組の名称	「カルシウム貯金をしよう」
実 施 時 期	12月18日(水)~
大 旭 时 初	12 / 16 H (/N)
取組内容に該当する	1 みんなで楽しく 2 側にはんを 3 パランスよく 3 食べよう 4 かりまざない 5 食べよう (
食育ピクトグラム	
(複数選択可)	
	7 共産に 8 食べ残しを 9 成権しよう 10 食べ傷した 12 食育を なくそう
取 組 内 容	だんだんと寒くなり、牛乳を残す生徒が増えてきました。また、牛乳が苦手な
4X NII F 1 H	生徒もいることから、残食を減らすことと健康のために一口でも牛乳を飲んでも
	らうことを目的に全校で「カルシウム貯金をしよう」という取り組みを行ってい
	ます。牛乳を一口でも飲むことができたら牛乳びんにシールを貼っていきます。
	牛乳びんが満杯になったら完成です。びんが埋まっていくことに生徒たちもやり
	がいを感じているようで、積極的に取り組んでくれています。牛乳の残も以前に
	比べ、減らすことができました。
	シールを見らって
	を サジャングルを 満杯に しょう 8目
	みんなで
	<u>カルシウム貯金</u> をしよう
	4 一 骨の量は成長とともに増加
	し、20歳ごろが最大量とな
	ります。10代のうちにカル
	シウムをとりましょう!!

提出都道府県名	三重県
政令指定都市名	
取 組 市 町 村 名	菰野町立菰野中学校
取組団体・企業名	
取組の名称	栄養バランスのよいお弁当づくり・掲示 (2年生)
実 施 時 期	8月、11月
取組内容に該当する	4 みんなで楽しく りょうにはんき りょうシスよく 4 大りまぎない こよくかんで
食育ピクトグラム	1 かんなで楽しく 2 歌ではんを 3 パランスよく 4 木の下書ない 5 よくかんで 食べよう (6 手を流おう) (7 女 人)
(複数選択可)	
(12. 34. 22. 1/(-3. /	
	7 光常に 8 食べ残しを 9 席地を 10 株績をしよう 11 和食文化を 12 食育を 12 推演しよう
	7 元音に 8 京ペ祭しき 9 高階 よう 10 新 南 11 福京文化を 12 指第 しょう 12 第 日
取 組 内 容	・食生活分野を学んだ2年生が、栄養バランスのよいお弁当づくりをおこなうこ
	とを夏休みの課題としました。
	・「栄養バランスがよい」:6つの基礎食品群を含み、彩りよくつくられているこ
	とを指します。
	・お弁当づくりをもとにレポートを作成し、文化祭にて掲示しました。全校生徒
	が目を通す機会としました。

提 出 都 道 府 県 名	三重県
政 令 指 定 都 市 名	
取組市町村名	伊勢市立進修小学校
取組団体・企業名	
取組の名称	2年生 3年生 学級活動「旬について知ろう」
実 施 時 期	11月8日
取組内容に該当する	1 かんなで楽しく 食べよう 2 様ごはんを 食べよう 3 パランスよく 食べよう 4 太りすぎない もせずきない 食べよう
取組内容に該当する 食育ピクトグラム	
食育ピクトグラム	
食育ピクトグラム	7 以答に 8 章公孫しを 9 産物を 10 余・長の 11 和食文化を 12 音解を なくそう 10 余・長の (株験もしよう 11 仮えよう 12 音解を 12 推進しよう
食育ピクトグラム	7 以答に 8 章公孫しを 9 産物を 10 余・長の 11 和食文化を 12 音解を なくそう 10 余・長の (株験もしよう 11 仮えよう 12 音解を 12 推進しよう
食 育 ピ ク ト グ ラ ム (複 数 選 択 可)	
食育ピクトグラム	フ (



旬について知っているか子どもにたちにき くと、「たくさんとれる時期」と答えていた。 たくさんとれる以外のよさを聞くと、手は上 がらなくなってしまった。そこで、紙芝居を 読んでもらい、季節にはそれぞれ旬の食べ物 があることを学習した。読んでもらった後に は、旬の野菜をどの季節の旬かを考えた。キ

ャベツキノコ、ジャガイモなど一年中お店で見かける野菜は難しそうにしていた が、先生のヒントを聞き、分類していた。

分類した後には、旬の野菜は栄養がたくさん含まれていること、新鮮でおいしい こと、値段が安いことの三つを教わった。

さいごに、ふりかえりで学んだことの中でお家の人に伝えたいことを書いた。

〈子どもたちのふりかえりより〉

- ・しゅんのやさいがやすいことがわかった。
- ・えいようがたくさんあるなら食べてみたいです。
- しゅんのやさいをたくさん食べたいです。

提 出 都 道 府 県 名	三重県
政令指定都市名	
取 組 市 町 村 名	紀北町
取組団体・企業名	紀北町立矢口小学校
取組の名称	おはしデー
	おはし練習コーナー
実 施 時 期	おはしデー:月1回
大 心 时 別	おはし練習コーナー:常時設置
	わはし練音コーナー:吊时設直
取組内容に該当する	1 みんなで楽しく 2 州にはんを 2 水よう 3 パランスよく 4 木りすぎない ちょくかんで 6 手を流おう
食育ピクトグラム	
(複数選択可)	
	7 次形に 8 g へ残しを 9 成根しよう 10 g ・用の 11 figure 12 g 市 を なくそう
取 組 内 容	・おはしデー
	月1回、食育担当がおはしデーを設定する。その日の給食はスプーンを使用せず
	お箸のみを使用し、給食を食べる。
	・おはし練習コーナー
	給食献立掲示板横に常時設置。
	お箸を正しく使えるようになるための補助具や、お箸で小さいものをつまむ練習
	ができるコーナーがある。

提 出 都 道 府 県 名	三重県
政令指定都市名	
取 組 市 町 村 名	朝日町(三重郡朝日町立朝日小学校)
取組団体・企業名	
取組の名称	「きゅうしょくができるまでをしろう」
実 施 時 期	2024年7月1日~3日
取組内容に該当する	1 かんなで楽しく 2 倒ごはんを 3 パランスよく 4 木りすぎない 5 よくかんで 6 手を洗おう
食育ピクトグラム	
「(複数選択可)	
	7 光常に 8 食べ残しを 9 虚態を 10 余/乗の はなえか 12 発育を はなよう 12 発育しよう 12 発育しよう 12 発育 1
取 組 内 容	1年生を対象に、「きゅうしょくができるまでをしろう」という授業を行いま
	した。
	給食室内の様子を直接見ることは難しいことから、授業では事前に撮影した
	「カレーができるまで」の動画を流し、給食室の様子を紹介しました。動画を視
	聴した子どもたちは、「家の鍋よりも大きい!」「野菜がとてもたくさんあった!」
	など家庭との様子の違いに驚いている様子がみられました。
	│ │ また、どのような人が登場したか発表する機会を設け、給食をつくるにはどれ │
	 だけの人が関わっているかを考えることができました。
	授業の最後では、給食室で使わなくなった調理器具を実際に教室で紹介し、子
	どもたちはとても興味津々な様子で紹介された調理器具を触っていました。
	また、授業を終えた後には、子どもたちが調理員の方たちへ感謝のことばを伝
	えている姿も見受けられました。

提 出 都 道 府 県 名	三重県
政 令 指 定 都 市 名	
取 組 市 町 村 名	鳥羽市立菅島小学校
取組団体・企業名	
取組の名称	もちつき集会
実 施 時 期	12月7日(土)
70 70	
取組内容に該当する	▲ みんなで楽しく の まごはんき の パランスよく ▲ 太りまぎない
食育ピクトグラム	1 かんなで楽しく 2 報にはんを 3 パランスよく 4 かりすぎない ち まくかんで カベよう (6 手を洗おう)
(複数選択可)	
	7 災害に 8 食べ残しを 9 産地を 10 食・風の 11 和食文化を 12 食育を なくそう 12 食育を は見しょう
取 組 内 容	保護者と小学生の児童と保育園児、教職員でもちつきを行いました。前日から
	みんなで協力して準備を行い、もちをついたり、丸めたりしました。しょうゆや
	きなこ、あんこであじつけをして。地域でとれたのりもいただきました。お昼に
	みんなでついたもちと保護者が作ってくれた豚汁をいっしょにいただきました。

提出都道府県名	三重県
政令指定都市名	
取組市町村名	津市立朝陽中学校
取組団体・企業名	
取組の名称	地産品「まこもたけ」を使った給食
実 施 時 期	10 月
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	1 かんなで楽しく まではんを まべよう (15シスよく まべよう) (15シスよく まべまん) (15シスよく まくまん) (15シスよ
	7 次音に 8 女/氏しを なくそう
取組内容	津市の美杉町と河芸町で作られている「まこもたけ」を使った給食を実施しました。新鮮な生のまこもたけを使用できるので、10月に2回使用しました。 実施当日は、まこもたけの実物と栽培の様子の掲示し、給食の放送で、生徒に知らせました。
	「まこもたけのきんぴら」 きんぴらに入っているまこもたけは、お米と同じイネ 科のなかまです。作り方もお米と似ていて、5月頃、水 をはった田んぼに苗を植えて育てると、そのくきの下の 方が"くろぼ菌"という菌によって大きくふくらみます。 収穫する秋になると、背たけが2メートルほどになり、 ふくらんだところを収穫して、外の皮をむいた白い部分 を食べます。まこもは、「菰野町」が名前の由来とされて いて、三重県に関係の深い植物です。



	②良育月间以外の月の収組
提出都道府県名政令指定都市名	三重県
取 組 市 町 村 名 取組団体・企業名	鳥羽市立鳥羽小学校
取組の名称	やさいのパワーをしろう
実 施 時 期	7月1日
取組内容に該当する食育ピクトグラム(複数選択可)	1 かんで楽しく 2 様ではんを 2 食べよう 3 食べよう
	7 以書に 8 食べ残しを 9 産地を 3 の間しよう 10 章・目の 4 報告しよう 11 和食文化を 12 食育を 12
食育授業 ※栄養教諭 阪本教諭による	【対象】 2年生 27名 【題材】 「やさいのパワーをしろう」 【内容】 ①自分の食生活を振り返りました。 ・2年生になって食べられるようになった食べ物はあるかな? →ミニトマト! (1人1鉢育てています。) ②「はてなボックス」の中の野菜は何かな?
	・9班に分かれて、箱の中にある実物の野菜(キャベッ・ニンジン・ダイコン・トマト・ピーマン・ナス・カボチャ・タマネギ・ネギ)をさわって考えました。 ③プリントで「野菜の名前パズル」に取り組みました。 ・どんな野菜がかくれているかな?
	④体の中での野菜の働き「やさいのパワー」について知りました。・「からだ」の調子を整えます。・「うんち」が出やすくなります。

⑤野菜について学んだことを発表しました。

・お母さん、トマトをいっしょに食べようね。

きのこを残さず食べてみるよ。

・健康に過ごすために、好き嫌いなく残さず食べます。

提 出 都 道 府 県 名	三重県
政令指定都市名	
取 組 市 町 村 名	鳥羽市立鳥羽東中学校
取組団体・企業名	
取組の名称	カレーライスのレシピづくり
4× 40 0> 10 40	
実 施 時 期	12 月
取組内容に該当する	1 みんなで楽しく
食育ピクトグラム	
(複数選択可)	
	7 (Sa)- 0 40/81 x 0 5/85
	7 災害に 8 食べ残しを 9 産地を 10 余一周の 11 切対文化を 12 余月を 12 余月を 12 余月を 13 分文化を 13 分文化を 13 分文化を 13 分文化を 14 分文化を 14 分文化を 14 分文化を 14 分文化を 14 分文化を 15
T	
取 組 内 容	【対象者】1年生
	【教科】家庭科
	【取組の概要】五大栄養素を意識ながらカレーライスのレシピをつくる。
	1年生は家庭科の授業で五大栄養素を学びました。その単元で学んだことをも
	とに、一人ひとりがカレーライスのオリジナルレシピを考えました。
	生徒はカレーに合わせる食材を吟味しながらレシピを組み立てていました。五
	大栄養素と6つの食品群の栄養バランスはもちろん、フードロスを減らす工夫を
	盛り込む生徒も見られました。
	カレーライス作ろう!! F(A) 組 名前(
	an effect of the
	IN CARLY 1 PA
	2群(他教育) プラカル アドス ロマル 3群(中秋) A MACA 3群(中秋) A MACA 3年(中秋) A MACA 3年(中秋
	3群(でかみ) NACA 1 (エランス) 1 (エル たんばん
	5群 (京水作物) 10 m to to move 5群 (京水作物) 10 m to
	225T#1A+N
	Transaction of the control of the co
	1890からともの名に対ることで楽しまっくった? (京都) なてのかっといはしょうかいた。

提 出 都 道 府 県 名	三重県
政令指定都市名	
取組市町村名	東員町
取組団体・企業名	
取 組 の 名 称	稲部小学校大豆栽培授業
実 施 時 期	令和 6 年 5 月 29 日 (水) 13:10~14:00(5 限目)
取組内容に該当する食育ピクトグラム(複数選択可)	1 かんなで楽しく 2 所ではんを 取べよう 3 余ペよう
	7 共和に
取 組 内 容	○実施内容
	・「大豆の育て方」(縦割り教育)
	稲部小学校が毎年行っている、全校生徒が一丸となって大豆を栽培に取り
	組む「マメマメ大作戦」の一環として、5年生を対象に大豆の育て方につい
	て説明した。下級生を指導しながら一緒に作業をする上での注意点を認識し
	てもらうよう努めた。
	○生徒・先生の意見等について
	・稲部小学校の5年生は、毎年大豆栽培を行なっている。復習も兼ねて、
	栽培上の注意点について端的に説明した後、班に分かれて下級生への指導方
	法を検討してもらった。
	・下級生にも判るようにするにはどうすればよいのか、各班積極に議論でき
	ていました。絵を駆使して図解したり、漢字や難しい文言を避けたり、と
	様々な工夫が見られました。
	・生徒からは、「教えてもらってありがとうございました」や「水やりを気」
	を付けます」といった感想があった。
	・担任からは、栽培についてわからないことが多いので、説明していただけ
	て心強いです。と言っていただいた。

○今後の展開について

- ・6月26日に播種作業を行うので、生徒はそれまでに準備をすすめていく。
- ・収穫の日程は、枝豆が10月2日、大豆が11月5日頃の予定。

提出都道府県名	三重県
政令指定都市名	一主八
取組市町村名	鳥羽市立鳥羽小学校
取組団体・企業名	Wa 22-1- == Wa 22 2 2 1\
取組の名称	朝食の役割
実 施 時 期	7月1日
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	1 分人なで楽しく 2 様ではんを カストランスよく カマトラ
	7 東京に 7 中央 2 年後 2 年
食育授業	【対象】 6年生 27名 【題材】 「朝食の役割」

※栄養教諭 阪本教諭による

【内容】

- ①朝食を食べた方がいい理由を考えました。
- ・朝食をとらずに登校した体験はないかな?
- ・なぜ食べた方がいいと思いますか?
- のから 研究の大切でも知って 日日 かなべかまままます。 (研究は、中野の名ののおりまのの かなん かん) はい理由 たまができません ままがま ままがき ままがら ままがら (研究は、中野の名ができません。 (中央の) はいまい (中央の) はいまい (中央の) はいまい (中央の) はいまい (中央の) はいまいがら (
- ②朝食の大切さをグループで考えました。
- ・エネルギー人形を使って1日の生活とエネルギーの増減の様子を見て、 朝食が午前中のエネルギーになることがわかりました。
- ・朝食を食べないと、夕食から17時間も何も食べないことになるんだね。
- エネルギーが空っぽになってしまうね。
- ③朝食パワーの3つのスイッチが入ることを知りました。
- ・頭のスイッチ…朝食をとることで脳が活発に動くんだね。
- 体のスイッチおなかのスイッチ
 - ※スイッチを入れるためにはおかずを組み合わせて食べる事が大切です。
 - →成長期に必要なカルシウム・鉄分は不足しがちなので、乳製品・果物も とるように意識しましょう。
- 4朝食をしっかり食べるためのおすすめの方法を考えました。
- ・早寝早起きをして、朝の時間の余裕をつくります。
- ・前日から栄養を考えて、朝ごはんのメニューを考えておきます。



- ⑤理解したことや、自分の生活にいかしていきたいことをプリントにまとめました。
- ・朝食はとても大切で、3つのエネルギーになると学びました。
- ・バランスの良い食事を考えて作ろうと思いました。・ゆっくり食べます。

提出都道府県名政令指定都市名	三重県
取 組 市 町 村 名 取組団体・企業名	鳥羽市立鳥羽小学校
取 組 の 名 称	五大栄養素の働きを知ろう(バランスのよい献立について)
実 施 時 期	7月5日
取組内容に該当する食育ピクトグラム(複数選択可)	1 かんなて楽しく 2 様ではんを まべよう
	7 次書に
合会哲士	【対象】 5年生 23名

食育授業

※栄養教諭 阪本教諭による



【題材】 「栄養素について」

【内容】

①なぜ、毎日いろいろな食べ物を食べる必要があるのだろう。

- ・成長するため ・元気に活動するため。 ・運動するため。
- 病気にならないため?食べるときは楽しいよ。
- ②五大栄養素のはたらきを知ろう。
- ・栄養や栄養素の働きについて知り、3つの働きのグループの特徴を考えました。
- ・働きのグループ別に多く含まれる栄養素を知り、五大栄養素の表で確認しました。 赤…血や肉・骨になる

→たんぱく質、無機質(肉、魚、卵、大豆製品、牛乳・乳製品、小魚、海藻など) 緑…体の調子をととのえる→ビタミン(野菜、くだもの、きのこなど)

黄…熱や力になる

→炭水化物、脂質(米、パン、めん、砂糖、いも類、油、バター、ドレッシングなど)

- ③今日の給食の食品を五大栄養素に分けてみよう。
- ・プリントにまとめました。
- ・分類された食材カードを見て、気づいたことを発表しました。

給食は五大栄養素が全て入っているなあ。 栄養のバランスが考えられているんだなあ。

④これからの食事で気をつけることを考えました。

- ・家のごはんも給食も残さないぞという気持ちが出てきました。
- 五大栄養素を意識して、好き嫌いをせずに食べようと思いました。
- ・栄養が不足しないように気をつけて食べようと思いました。

②食育月間以外の月の取組	
提 出 都 道 府 県 名 政 令 指 定 都 市 名	三重県
取組市町村名取組団体・企業名	鳥羽市立鳥羽小学校
取組の名称	旬の野菜パワーについて知ろう
実 施 時 期	7月5日
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	1 かんで楽しく 2 様ではんを 2 食べよう 3 食べよう
	7 次章に
食育授業 ※栄養教諭	【対象】 4年生 30名 【題材】 「旬の野菜パワーについて知ろう」 【内容】
阪本教諭による	①紙芝居「野菜村の村長さんはだーれ」を聞きました。・話に出てきた野菜に興味がわいたよ。

- ②旬の野菜の「旬」の意味を知りました。
- ・その地域や季節でたくさん採れる食べ物(野菜)があり、
 - 一番おいしい時期のものを「旬」というんだなあ。



- ③旬の野菜を考えました。
- ・班で一番おいしい季節はいつかを考えながら、野菜を4つの季節に分けました。
- ④旬の野菜のよさを知りました。
- ・栄養がたくさん ・新鮮でおいしい ・値段が安い ・季節を感じる
- ・春…体を目覚めさせます
- ・夏…夏野菜は体温を下げます
- ・秋…夏の疲れをとります ・冬…冬野菜は体温を上げます
- ⑤今日の給食の献立から旬の野菜をさがしました。
- ・給食の献立には、夏の旬の野菜が多く取り入れられているんだなあ。
- ・旬のオクラを進んで残さず食べよう。



- ⑥旬の野菜についてわかったことやお家の人に伝えたいことをまとめました。
- ・トマトは 1kg で夏は 625 円、冬は 1,250 円で、夏の方が安くておいしいよ!
- たけのこの旬は、秋じゃなくて春だったのでびっくりしたよ。
- 旬の野菜のことがいっぱい知れて、楽しかったよ。

提出都道府県名政令指定都市名	三重県
取組団体・企業名	鳥羽市立鳥羽小学校
取組の名称	「鳥羽が好き ふるさと給食」
実 施 時 期	10 月 24 日
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	1 みんなで楽しく 2 報ごはんを まべよう
	7 光常に
食育授業	【対象】 3年生 31名

※栄養教諭 阪本教諭による 【題材】 「鳥羽が好き ふるさと給食」

【内容】

- ①鳥羽市について知りました。
- ・海女が有名・海が近い・漁師がいる・離島がある
- 魚がおいしい!
- ②たこのことについて知りました。
- ・動画を見てから、ゲストティーチャーからお話を聞きました。
 - …たこのとり方、とれる場所、難しさ、苦労、収穫時期などについて 教えていただきました。
 - →とれる量が減っていることを知りました。
- ③ふるさと給食について知りました。
- ・今日の献立:鳥羽産の食材(たこ・ひじき・今浦みそ)
- ④ふりかえりをしました。
- たこがたこつぼでとれるのを、はじめて知りました。
- たこも人間のようにきれい好きなんだな。
- ・鳥羽の近くの海にはマダコが一番多いんだな。
- ・10年前の方がよくとれていたんだな。なぜかな。
- ・神島は昔はめっちゃとれていたけど、今はあんまり とれないことを初めて知りました。
- ・好き嫌いなく食べるようにしようと思いました。









提出都道府県名	三重県
政 令 指 定 都 市 名	
取組市町村名	南伊勢町立南勢小学校
取組団体・企業名	
取組の名称	米作り体験
実 施 時 期	5月~9月
大地村物	
五·四十·二十·1/2	
取組内容に該当する	1 かんなで楽しく 2 飛ば点点を 3 カランスよく 4 かりまぎない 5 よくかんで 食べよう (4 かりまぎない 5 食べよう (4 かりまぎない 5 食べよう (4 かりまぎない 5 食べよう (4 かりまぎない 5 食べよう (4 かりまぎない (4 かりま) (4
食 育 ピ ク ト グ ラ ム (複 数 選 択 可)	
	7 災害に 〇 食べ残しを 10 食物を 10 食物を 11 初食文化を 19 食育を
	7 共和に 8 余久見した 9 定理しよう 10 余 編の 11 仮文化を はくそう 12 業務を 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
取 組 内 容	南勢小5年生が、地域の農家さんの田んぼで田植え、稲刈りの体験を通じて米作
	りを学びました。
	昔ながらの方法で、手で苗を植えたり鎌で刈り取る作業は労力も必要ですが、米
	作りの苦労や農家さんへの感謝をより感じることができる経験となりました。
	農家さんを招いた調理実習では収穫したお米をみんなでいただきました。
	南伊勢町は漁業が盛んな町ですが、農業にも多くの方が従事し、地域で農作物を
	育てていることを知ることができました。

提出都道府県名	三重県
政令指定都市名	
取組市町村名	名張市立美旗小学校
取組団体・企業名	
取組の名称	お米を育てよう(5年生)
実 施 時 期	5月 16日(木) 田植え 9月 24日(火) 稲刈り
	ⅠⅠ月25日(月)調理実習(5-2)ⅠⅠ月29日(金)調理実習(5-Ⅰ)
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	1 かんなで変して 2 まではんを 3 かつとう
	7 元章に
取 組 内 容	5年生の取組 お米を育てよう ① 「田植えを体験しよう」 美旗小学校は、新田というところにあります。新田は江戸時代に新田開発されたところで、古くから米作りが盛んです。美旗小学校はでは、JA さんの協力のもと、学校の近くの田んぼをお借りして5月 16 日に田植えの体験をしました。家のお手伝いでしたことがある子もいましたが、JA さんの話をよく聞いて、みんな苗を手に持って 1 列に並んで植えました。
	 ② 「稲刈りをしよう」 9月24日(火)には、たわわに実った稲を鎌で刈りました。 とれたお米をJAさんの方で、精米してもらい、学校に届けてもらいました。 ③ 「お米を炊いて食べよう」 届いた新米を家庭科の時間にそれぞれのクラスで炊いて、食べました。 お米をこぼさないように気をつけて洗い、水加減を確認して炊きました。 お味噌汁も作ってみんなおいしそうに食べていました。

提	出都道府県		三重県
	令指定都市		
取	組市町村	名	名張市立北中学校
取	組団体・企業	業 名	
取	組の名	称	①1 日分の献立作り(授業、冬休みの宿題)
			②食育の啓発掲示物
実	 施 時	期	9月~12月
取	組内容に該当	する	1かんなで楽しく 2 単ではんを 3 パランスよく 4 ホウすぎない 5 よくかんで 6 半を走おう
食	育ピクトグラ	ラム	
(複数選択可])	
			7 元本に 8 余ペダルマ 9 素明を 10 未来の 11 和文文化を 12 元本モ
取	 組 内	容	
取	組内	容	①
取	組内	容	
取	組 内	 容	1日の自分の食事をふり返り、全ての食品群別摂取量が補えるように、夕飯の献
取	組 内	容	1日の自分の食事をふり返り、全ての食品群別摂取量が補えるように、夕飯の献立作りをしました。さらに、献立作りに必要なポイント(栄養、嗜好、時間、季
取	組 内	容	1日の自分の食事をふり返り、全ての食品群別摂取量が補えるように、夕飯の献立作りをしました。さらに、献立作りに必要なポイント(栄養、嗜好、時間、季節、予算など)を踏まえたうえで、夕飯として鍋の具材を考えさせました。
取	組 内	容	1日の自分の食事をふり返り、全ての食品群別摂取量が補えるように、夕飯の献立作りをしました。さらに、献立作りに必要なポイント(栄養、嗜好、時間、季節、予算など)を踏まえたうえで、夕飯として鍋の具材を考えさせました。 →さらに、考えた鍋を作って報告させることを冬休みの宿題にし、実践させました。 *庭科 冬休みの宿題(例)
取	組 内	容	1日の自分の食事をふり返り、全ての食品群別摂取量が補えるように、夕飯の献立作りをしました。さらに、献立作りに必要なポイント(栄養、嗜好、時間、季節、予算など)を踏まえたうえで、夕飯として鍋の具材を考えさせました。 →さらに、考えた鍋を作って報告させることを冬休みの宿題にし、実践させました。
取	組 内	容	1日の自分の食事をふり返り、全ての食品群別摂取量が補えるように、夕飯の献立作りをしました。さらに、献立作りに必要なポイント(栄養、嗜好、時間、季節、予算など)を踏まえたうえで、夕飯として鍋の具材を考えさせました。 →さらに、考えた鍋を作って報告させることを冬休みの宿題にし、実践させました。 ***********************************
取	組 内	容	1日の自分の食事をふり返り、全ての食品群別摂取量が補えるように、夕飯の献立作りをしました。さらに、献立作りに必要なポイント(栄養、嗜好、時間、季節、予算など)を踏まえたうえで、夕飯として鍋の具材を考えさせました。 →さらに、考えた鍋を作って報告させることを冬休みの宿題にし、実践させました。 日分の献立作リー・オリジナル線を考えよう~ 日分の献立作リー・オリジナル線を考えよう~
取	組 内	容	1日の自分の食事をふり返り、全ての食品群別摂取量が補えるように、夕飯の献立作りをしました。さらに、献立作りに必要なポイント(栄養、嗜好、時間、季節、予算など)を踏まえたうえで、夕飯として鍋の具材を考えさせました。 →さらに、考えた鍋を作って報告させることを冬休みの宿題にし、実践させました。 □ は の
取	組 内	容	1日の自分の食事をふり返り、全ての食品群別摂取量が補えるように、夕飯の献立作りをしました。さらに、献立作りに必要なポイント(栄養、嗜好、時間、季節、予算など)を踏まえたうえで、夕飯として鍋の具材を考えさせました。 →さらに、考えた鍋を作って報告させることを冬休みの宿題にし、実践させました。 ・さらに、考えた鍋を作って報告させることを冬休みの宿題にし、実践させました。 ・ ************************************
取	組 内	容	1日の自分の食事をふり返り、全ての食品群別摂取量が補えるように、夕飯の献立作りをしました。さらに、献立作りに必要なポイント(栄養、嗜好、時間、季節、予算など)を踏まえたうえで、夕飯として鍋の具材を考えさせました。 →さらに、考えた鍋を作って報告させることを冬休みの宿題にし、実践させました。 ・ さらに、考えた鍋を作って報告させることを冬休みの宿題にし、実践させました。 ・ さらに、考えた鍋を作って報告させることを冬休みの宿題にし、実践させました。
取	組 内	容	1日の自分の食事をふり返り、全ての食品群別摂取量が補えるように、夕飯の献立作りをしました。さらに、献立作りに必要なポイント(栄養、嗜好、時間、季節、予算など)を踏まえたうえで、夕飯として鍋の具材を考えさせました。 →さらに、考えた鍋を作って報告させることを冬休みの宿題にし、実践させました。 ・ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
取	組 内	容	1日の自分の食事をふり返り、全ての食品群別摂取量が補えるように、夕飯の献立作りをしました。さらに、献立作りに必要なポイント(栄養、嗜好、時間、季節、予算など)を踏まえたうえで、夕飯として鍋の具材を考えさせました。 →さらに、考えた鍋を作って報告させることを冬休みの宿題にし、実践させました。 →さらに、考えた鍋を作って報告させることを冬休みの宿題にし、実践させました。 ***********************************

調理室前に、食育月間について、旬の魚ポスターや6つの食品群分け、食物アレルギーについてのポスターを掲示して啓発しています。

提 出 都 道 府 県 名	三重県
政令指定都市名	
取 組 市 町 村 名	亀山市立中部中学校
取組団体・企業名	
取組の名称	①牛乳をしっかり飲み、栄養をとって健康に過ごす
	②りんごの皮むきに挑戦しよう
実 施 時 期	① 10月
	② 11月
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	1 分んなで楽しく 2 単元はAを 2 食べよう 3 分ランスよく 4 木りすぎない 5 木くかんで 東ベよう 1 分 人 2 食べよう 1 分 3 分 3 分 3 分 3 分 3 分 3 分 3 分 3 分 3 分
	7 共常に 8 食べ残しを なくそう 9 意地を なくそう 10 余・風の 11 別食文化を はえよう
取 組 内 容	① 保健委員会の取り組み
	毎日の牛乳の残数が多く、牛乳が苦手な生徒が約
	20%いるというアンケート結果から、牛乳の良さを はないない 中乳を骨の関係性 は スキャルス 「牛乳 オール・カーの関係性」
	伝えるために「牛乳をしっかり飲み、栄養をとって 健康に過ごす」をテーマに掲示物を作成した。骨密
	度アップ、カルシウムの吸収を助ける、カルシウム
	を多く含む食品の紹介等牛乳を飲むメリットを中
	心にまとめた。
	②家庭科の取り組み
	食体験の取り組みとして、「りんごの皮むき」を行った。新型コロナウイルスの
	蔓延により、調理経験を小学校の時に思うように得られていないため、包丁実技
	の基礎として取り入れた。家でも調理をする機会のない生徒も、実技試験を行う
	ことで家での練習をした生徒が多く、家でやり方を教えてもらうことで保護者 とのコミュニケーションにもつながった。

提出都道府県名 政令指定都市名 取組市町村名 尾鷲市立尾鷲小学校 取組団体・企業名 取組の名称 地元の食材を学校給食で味わう。生産者の講演会

実 施 時 期 令和6年5月(甘夏)7月(ブルーベリー)

取組内容に該当する食育ピクトグラム (複数選択可)























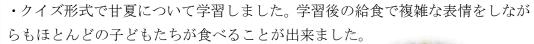


取 組 内 容



・尾鷲市では、尾鷲市有機農業産地づくりの事業の一環として、尾鷲で栽培された有機栽培の果物を学校給食で提供しています。有機農業への理解を深め、消費拡大を進めることを目的としています。今年度は、甘夏・ブルーベリーを提供しました。また、果物の提供日にあわせ、農業に取り組む農家の方から講演を実施し、児童生徒が興味を持ってくれるような給食だよりを発行しました。

【農家の方から講演】





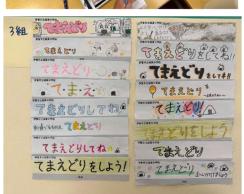






提 出 都 道 府 県 名	三重県
政令指定都市名	
取 組 市 町 村 名	伊賀市立城東中学校
取組団体・企業名	
取組の名称	てまえどり POP づくり(セブンイレブンジャパンとの取組)
実 施 時 期	9月
取組内容に該当する	1 かんなで楽しく まではんを またよう 2 質ではんを またまう 3 パランスよく 4 やせぎぎない 5 食べよう 6 手を流おう
食育ピクトグラム	
(複数選択可)	
	7 元音に
取 組 内 容	セブンイレブンジャパンの出前授業において、コンビニエンスストアの SDG s の
	取り組みについて学習をした後、食品ロスを減らすための取り組み「てまえどり」
	を店舗でアピールするPOPを各自が作成した。このPOPは、伊賀市内のセブ
	ンイレブンで実際に1か月間使用された。





提出都道府県名	三重県
政 令 指 定 都 市 名	
取組市町村名	亀山市立白川小学校
取組団体・企業名	
取組の名称	亀山市内の中華料理店主による「中国料理で味のふしぎを発見!おいしく健康を学
	ぶ授業 の食育授業
実 施 時 期	令和6年11月20日(水)3,4限
取組に該当する	1 みんなで楽しく 2 間にはんを 3 パランスよく 4 太りすぎない 5 よくかんで 食べよう 食べよう
食育ピクトグラム	
(複数選択可)	
	フ 災害に 〇 食べ残しを 〇 食物を 10 食・目の 11 均食文化を
	7 実際に 8 食べ残しを 9 森田しよう 10 余・母の 4 様々をしよう 12 食育を 12 を 12
取 組 内 容	市内の中国料理店「中国名菜しらかわ」の店主白川貴久さんを講師に招き、4,5,6
	年生児童対象に中国料理を通した味覚の授業と火を使わない調理実習と試食を行っ
	た。
	・調理実習及び試食があるため、実施までに、打ち合わせや、児童の保護者へ食育授
授 業 内 容	業の実施案内及び食物アレルギー調査を事前に行い確認した。
3限目	
(味覚の授業と中国料理の	I.導入
紹介)	○授業のテーマと目的の説明。
	中国料理を通じて、味覚の大切さ、おいしい食事、旬の食べ物が健康を作る(医食
	 同源)ということを、楽しみながら学ぶ。
	○「味覚」について、何が好きか話し興味を引き出す。
	2.味覚の話
	○基本の5つの味覚(甘味・酸味・塩味・苦味・辛味)について説明。
	※調味料を実際に味見する。

聴覚 (ちょうかく)

・音を聞く ・サクサク音や 料理の音が楽しい!!

視覚 (しかく)

目で見る色や形が美味しさに!

嗅覚(きゅうかく)

・ 香りを感じる・ しょくよくをひきだす

○各味覚の代表的な食材や中国料理で使われる例を挙げ、イメージしやすいようにする 馴染みのある酢豚等の料理で味の構成や医食同源的観点をわかりやすく説明。

触覚(しょっかく)

食べ物をさわる温かさや冷たさを感じる

味覚 (みかく)

・舌で感じる・5つの味で食べ物を評価

辛味 (からみ)

例 しょうが とうがらし ・体を選め、血の流れをよくする ・寒い日や冷えた時に たべるといいですね。

塩味(えんみ)

例 おみそ しお ・体の水分パランスを保つ助け ・汗をかいたときに促立つ

酸味(さんみ) 苦味(にがみ)

甘味(あまみ)

例 さとう
・エネルギーをくれる
・からだを元気にする
・変れた時にやくだつ

例 ピーマン ゴーヤ カカオ ・体をすっきりさせる ・どくそをだす (体にふようなもの)

3.中国料理の道具紹介

- ○中国料理の鍋やお玉など実際に持参していただいたものを見せてもらい特徴や使い方を分かりやすく説明を受ける。
- ○実際に手に取り道具への理解を深め料理への興味 を持たせる。

4.実習内容の説明と衛生指導

- ○生春巻きの具材や手順についての説明。 使用する食材を確認する。
- ○アレルギー対策の重要性や、手洗いや器具の 使い方など衛生面の注意点の指導。



- ○手順に沿って生春巻きの具材を準備し、巻く 作業を進める。
- ○児童一人ひとりが1本ずつ巻けるようにし、 教師や補助スタッフがフォローしながら進める。

6.試食と味覚の感想

- ○試食タイム。みんなで作った生春巻きを味わいながら、味の特徴や感想発表。
- ○「この味は甘い」「シャキシャキしている」など、先に学んだ味覚の知識と照らし 合わせて、感じたことを共有する。

7.まとめと質疑応答

○今日学んだことを振り返り、味覚の違いを楽しむことの大切さや、中国料理の 道具・食文化について理解を深める。















4限目

(調理実習と試食)

白川さんからの事前提案で、シェフハットを自分の頭のサイズに合わせて作成して、授業に望んだ。児童は、シェフになった気分で楽しく学んでいた。

調理実習では、パプリカや、カイワレ大根などの生野菜や、見た目が黒いので避けられがちなキクラゲは入れずに巻いていた児童もいた。

また、試食時には、生春巻きを今までに食べたことがない人は?と質問すると 大半の児童が手を挙げ今回が初めてという児童が多かった。

はじめの一口は、食材の素材の味を感じるために調味料を付けずに食べると、普段の学校給食では、生野菜が提供されることがないので、生野菜の苦手な児童は、顔をしかめている児童もいたが、二口目からは、しらかわさんの特製ピリ辛だれを少し付けて食べると、みんな「おいしい」と言って食べ進めていた。

自分で巻いて作った生春巻きを、みんなで楽しく味わいながら食べることができて、 充実した食育授業となった。

提 出 都 道 府 県 名	三重県
政 令 指 定 都 市 名	
取 組 市 町 村 名	熊野市立木本中学校
取組団体・企業名	
取組の名称	地場産物を活用した給食の実施
実 施 時 期	11月22日
取組内容に該当する	1 かんなで楽しく 2 前ではんを 3 パランスよく 4 木りすぎない ちょくかんで 食べよう 6 手を流おう
食育ピクトグラム	
(複数選択可)	
	7 災害に 8 食べ残しを 9 産地を 10 食・風の 11 和食文化を 12 食育を はなくよう 12 食育を はなくよう 12 食育を 12 を 12
取 組 内 容	熊野市新鹿町で偶然発見された柑橘「新姫」を活用した献立です。平成9年に
	品種登録された新姫は、熊野市でしか収穫されない幻の柑橘と言われています。
	 直径は3cm前後と小さく、酸味があり強く爽やかな香りが特徴的です。秋が旬の

熊野市新鹿町で偶然発見された柑橘「新姫」を活用した献立です。平成9年に 品種登録された新姫は、熊野市でしか収穫されない幻の柑橘と言われています。 直径は3cm前後と小さく、酸味があり強く爽やかな香りが特徴的です。秋が旬の さんまに新姫の果汁をかけ、さわやかな香りと共にさんまで秋を感じることので きる献立です。生徒からも「いい香り!」「さっぱりしていて食べやすかった」と の感想がありました。給食を通して地場産物についても知ることができる良い経 験になりました。



提出都道府県名	三重県
政令指定都市名	
取 組 市 町 村 名	熊野市立入鹿小学校
取組団体・企業名	
取 組 の 名 称	栄養教諭による食育授業及び学校給食での食の楽しみを深める栽培学習
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
压加士克儿	
取組内容に該当する	1 みんなで楽しく 2 様にはんを 3 パランスよく 4 木りすぎない 5 木ぐかんで 5 木ぐかんで 5 木ぐかんで 5 木ぐかんで 1 大い やせすぎない 1 大い 1
食育ピクトグラム	
(複数選択可)	
	7 児童に 8 食べ残しを 9 産地を 10 繁一番の 11 相互义化を 12 宝宝を 指進しよう
 取 組 内 容	
	(赤・黄・緑) について学び、学校給食(食べること・安全・バランス)の大切
	さを改めて確認しました。
	5月 生活科、総合的な学習で全校の縦割り班を利用して、サツマイモの植え付
	けを行いました。水やりなどもたて割り班の当番制で行い、みんなで育てていまし
	したが、数年前に地域の方の協力で設置いただいた防獣ネットの老朽化からか3
	 回にわたり猿の被害に合いました。その都度、植えなおしを行い、11 月下旬まで
	 待ってイモの収穫を行いました。小さなイモしかとれませんでしたが、12月の学
	校給食(いもごはん)で秋の収穫として味わうことができました。
	また、毎年、丸山千枚田の米作り体験学習でお世話になっている熊野市ふるさ
	と公社から今年も千枚田米(なついろ)の新米をいただき、学校給食で利用して
	います。子どもたちは地域の文化、米作りの大変さ等を実感しながら、おいしい
	給食をいただいています。

提出都道府県名	三重県
政令指定都市名	
取 組 市 町 村 名	鈴鹿市立創徳中学校
取組団体・企業名	
取組の名称	生涯を通じた心身の健康を支える食育の実施
中 佐 吐 田	
実 施 時 期 	6月7月(5日)、9月10月(5日)
取組内容に該当する	1 かんなで楽しく 2 明ごはんを 2 明ごはんを 3 ポランスよく 4 ホリすぎない 5 乗べよう 6 手を洗おう
食育ピクトグラム	
(複数選択可)	
	7 東海に 8 食べ残しを 9 成職しよう 10 株務をしよう 11 和食文化を 横渡しよう 12 業務を
取 組 内 容	目的
	1年生 ①丈夫な骨を育てよう。(栄養教諭との授業)
	②朝食を食べよう。(家庭科の授業)
	2年生 ①スポーツ・成長と栄養 (栄養教諭との授業)
	②三重県の食材を知ろう (家庭科の授業)
	3年生 ①望ましい食習慣について知ろう。(栄養教諭との授業)
	全学年 自分のレシピ集を作ろう。
	対象者
	全学年全員を対象にクラス別に実施
	実施内容
	栄養教諭と家庭科の授業を連携し実施しました。 1 年生では成長期の健康な骨の
	発育とカルシウム摂取の重要性と食事でのカルシウムの摂取方法について学習しま
	した。また、朝食の役割を学習し、おいしく食べる工夫を考えました。2年生は1学
	期にスポーツと栄養について学習しました。三重県中学校総合体育大会前に水分の
	補給を含めて栄養のポイントを学習しました。2学期は三重県の食材について学び、
	和食文化を学習しました。3年生は望ましい食習慣ということで、生活習慣病につい
	て学習しました。
	生徒の生涯にわたっての健康的な食生活を考え実践できるように、レシピ集の取
	り組みも年間を通じて実施しています。

提出都道府県名政令指定都市名	三重県
取 組 市 町 村 名 取組団体・企業名	松阪市立山室山小学校
取組の名称	フィリピンの文化を知ろう!
実 施 時 期	令和6年5月31日
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	1 分析でまして 2 何にはんを 2 何にはんを 2 何にはんと 3 何
	7 元常に
取 組 内 容	外国語活動では、ALT・EST(外国語指導助手)の先生と楽しく英語の時間を過

ごしています。4年生では、世界の様々な国の名前・あいさつ・文化を学び、い ろいろな国のあいさつをして自己紹介をしたり、好きなもの、嫌いなものを伝え 合う活動を楽しみました。その中で、いつも生活を共にしているフィリピン出身 の友だちの言葉も知る機会がありました。

そこで、より深くフィリピンについて学ぶ機会になればと、その児童の保護者 をゲストティーチャーに迎え、フィリピンの文化に触れる時間をもちました。フ ィリピン出身の EST の先生から言語、文化についての話を聞き、保護者から家族 の紹介や食文化についての話を聞きました。授業の後半では、フィリピンの伝統 的なお菓子(トロン)を実際に作って試食しました。トロンは、日本のスーパー には出回っていない「サババナナ」という種類のバナナに砂糖をまぶし、春巻き の皮で包んで油で揚げたお菓子です。子どもたちは普段食べているバナナとの食 感や味の違いを楽しみ、「おいしいね」と伝え合っていました。フィリピンとの 食文化の違いを知ることで、食への関心を深め、調理の楽しさを知る機会となり ました。







提出都道府県名政令指定都市名	三重県					
取 組 市 町 村 名 取組団体・企業名	松阪市立松江小学校					
取組の名称	3年理科「植物のどこを食べている?」					
実 施 時 期	令和6年5月9日					
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	1 分んで変しく 2 まだはんを 3 パランスよく 4 かりまぎない 5 まぐかんで 煮べよう マンド 1 かんで まべょう 1 かんで					
	7 元 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					
取 組 内 容	5月10日に給食でそらまめが出ることになっていたので、その前日の9日に					

「そらまめのさや」をむいて、さやとまめの観察を行いました。

3年の理科の授業では、葉・茎・根・実・種・花(つぼみ)など、植物のどの 部分を食べるか勉強をしています。そらまめは、実(さや)の中にできた若い「種」 の部分を食べることを、実際にむいて知ることができました。

子どもたちが興味を持ったのは、絵本「そらまめくんのベット」にあるように、 さやの中のふわふわしたやわらかい、まさにそらまめのベット!の部分でした。

触ってみたり、匂いをかいでみたり、初めて触った子が多く、「ほんとにふわ ふわ!」と楽しそうに観察していました。









10日の給食では、嬉しそうにそらまめを食べる様子 が見られ、給食につなげることができてよかったです。

提出都道府県名	三重県					
政 令 指 定 都 市 名						
取 組 市 町 村 名	南牟婁郡紀宝町					
取組団体・企業名	紀宝町立矢渕中学校					
取 組 の 名 称						
実 施 時 期	通年 (4~12月)					
	処十(1 12 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1					
- 45 1 - 1 - 1 - 1 - 1						
取組内容に該当する	1 かんなで楽しく 2 単二はんを 2					
食育ピクトグラム						
(複数選択可)						
	7 共常に 8 余べ残しを 9 点地を 10 余・湯の 11 伯えよう 12 前音を					
H 40 th th						
取 組 内 容 						
	・食育ピクトグラムの掲示物を引き続き各学年の階に掲示し、食育についての意					
	識の向上に努めた。					
	・家庭(3年生)の授業において幼児のおやつについて学習し、紀宝町役場から					
	頂いた小麦粉を使用し、スノーボールクッキー作りを実践した。					
	・残食を0に近づけるために、給食センターと連携し、適切なごはんの分量に調					
	・ 残食をりに近つけるために、結食センターと連携し、適切なこはんの分重に調 整している。					
	登している。					
	朝食の確認					
	毎朝のアンケートで朝食を食べてきたかの確認をしている。約9割の生徒が朝食					
	を食べて学校に登校していることがわかっている。					
	・保健だよりにバランスよく食べること、よくかんで食べることを掲載した。					

提出都道府県名政令指定都市名	三重県					
取組市町村名取組団体・企業名	木曽岬町					
取 組 の 名 称	とまリッチを味わおう					
実 施 時 期	5月					
取組内容に該当する食育ピクトグラム(複数選択可)						
	7 元素に 8 余八元した 9 元素化を 2 元素した 2 元素化					
取組内容	木曽岬町でとれた「とまリッチ」を無償提供いただきました。 給食では1人1つ丸かじりで味わいました。					

提 出 都 道 府 県 名	三重県
政令指定都市名	
取組市町村名	大紀町立大宮中学校
取組団体・企業名	
取組の名称	防災食を作ろう
実 施 時 期	12月
実 施 時 期	
取組内容に該当する	1 かんなで楽しく 食べよう 2 明ごはんを 食べよう 3 がランスよく 食べよう 4 木りすぎない やせずぎない 5 食べよう
食育ピクトグラム	
(複数選択可)	
	7 光音に
取 組 内 容	栄養教諭による防災食の授業を行い、実際に家庭科で調理実習を行った。災害時
	の停電・断水の場合、どうしたらよいのか、災害時を想定してレシピを作成し、
	調理を試みた。節水。省エネを意識して、ハイゼックス袋にコメと水を入れて、
	ご飯を炊いた。また、ビニール袋に具材を入れて、スープ作りを行った。デザー
	トとして高野豆腐でお菓子を作った。袋が破れてしまう事態が起こったりもした
	が、最終的にはうまく完成し、おいしくいただくことができた。一度体験してお
	くと、今後に役立てることができると思う。
	片付けや洗い物においても、できるだけ少ない水で行うよう指導はしたが、難
	しい部分もあり、改めて水の必要性を感じた。
L	<u> </u>

提 出 都 道 府 県 名	三重県				
政令指定都市名					
取組市町村名	度会郡度会町立度会中学校				
取組団体・企業名					
取 組 の 名 称	ブルーベリー収穫体験学習				
実 施 時 期	7月9日				
取組内容に該当する食育ピクトグラム(複数選択可)	1 分析なて楽しく 2 前には長を 2 前へよう 3 前へよう 4 木 カリすぎない 5 まぐかんで かせすぎない 5 まべかよう () 「				
	7 共産に 8 女べ残しを 9 点階を 9 点間しよう 11 和食文化を 信えよう 12 倉育を 情報しよう 1 1 和食文化を 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
取 組 内 容	収穫体験活動中の生徒たちは、楽しそうに活動し、生産者からのアドバイスを興味を持っ				

収穫体験活動中の生徒たちは、楽しそうに活動し、生産者からのアドバイスを興味を持って聞いていた。地元で育てているブルーベリーについて知り、収穫体験を通して生産にかかわる工夫、苦労、思いや願いを知ることができた。自分たちの住む地域で育てられているブルーベリーを収穫体験させてもらい、自分の住む町の良いところを再確認することができた。体験をとおして、生産者の思いを知ることで食べ物を大切にしようとする姿勢が見られるようになった。また、収穫体験を通して、地域の方々の温かさに触れ、地域に支えられていることを実感することができた。

◎生徒の感想

- ・ブルーベリーを自分の手で収穫したのは初めてで「どんな味がするのかな?」と食べるのがとて も楽しみでした。今日初めて収穫したブルーベリーは甘くてとてもおいしかったです。
- ・この収穫体験を通して、作物を育ててくれる方へ感謝して食べようと思いました。
- ・木の周りには、柵がはってあったので、猪などからブルーベリーを守っているのかなと思いました。こんなにおいしいブルーベリーにするまでにたくさんの苦労を重ねてきているのだろうなと思い、貴重な体験をさせてもらって感謝の気持ちでいっぱいになりました。
- ・こんなにおいしいブルーベリーをどうやって作るのかとても気になりました。今日行った収穫体験では、職人の腕前と愛情を込めて作られていることがすごいと思いました。
- ・持って帰って家族と一緒に、ジャムにしたり、凍らせて食べたり、スムージーにしたりしておい







提出都道府県名	三重県度会郡				
	一重外及五柳				
政令指定都市名					
取 組 市 町 村 名	度会町立 度会小学校				
取組団体・企業名					
取組の名称	田植え体験・稲刈り体験(5年生)				
.	5 U / O U				
実 施 時 期	5月/9月				
取組内容に該当する 1 3/45 (
食育ピクトグラム					
(複数選択可)					
	7 光常に 8 食べ残しを 9 虚物を 10 食機をしよう 11 物食文化を 信えよう 12 強調を 12 強調を 12 強調を 12 強調を 13 対象 15 対				
取 組 内 容	毎年5年生が「田植え」「稲刈り」の体験を実施しています。				
	5月16日に上九目の「おんご長さん」の田をお供りして「田姉う休齢をしま				

5月 16 日に上久具の「おんじ屋さん」の田をお借りして、田植え体験をしました。稲の苗の植え方を教えていただき、裸足になり、苗を植える場所を確認しながらていねいに植えました。田んぼに足をとられて動けなくなったり、虫がい

ると大騒ぎになったりと、にぎやかに 過ごしました。しかし、例年より手早 く田植えができたとほめていただき、





大満足の体験となりました。給食のご飯を食べながら、「このお米もミルキー クイーンかなぁ」と、コメ作りに関心を寄せていました。

9月13日に鎌を使う大変さや作業の過酷さなど感じながら稲刈りしました。稲刈り新聞を作り、収穫したお米は給食と調理実習でおいしくいただきました。また、学習発表会では、田植え、稲刈り体験の劇と発表を行いました。

〈新聞より〉

- ・私は初めての稲刈りでした。実際にやってみると最初はカマが怖いし、稲が 硬く感じました。
- ・とても暑くなってきて、後半はあまり動けませんでした。私はすぐに疲れる のに、昔の人は体力があってすごいなと思いました。









提出都道府県名 三重県 政令指定都市名 組市町村 名 四日市市立日永小学校 取組団体・企業名 組 名 6年生 お弁当作り授業 その後について 取 の 称 令和4年・6年2月(6年生お弁当作り授業実施) 施 時 実 期 令和6年7月6日 (中学1年・3年 アンケート実施)

取組内容に該当する食育ピクトグラム (複数選択可)

























取 組 内 容

6年 お弁当作品



<目的>

本校は、7年前から6年生対象に自分でお弁当の内容、準備、手順を計画し、 自分で作って持ってくるという「お弁当づくり」の授業を行っています。お弁当 づくりを経験した児童が、その後の生活にどのように生かしているか知りたいと 思い、調査を実施しました。

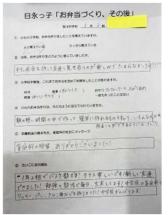
<対象者>

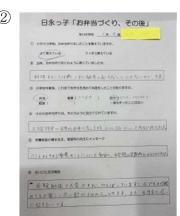
本校を卒業した 中学校1年生 14名、中学校3年生 34名

<実施内容・結果>

中学校家庭科担当教諭にアンケートを依頼、回収をしました。

卒業生の 回答





- ① 朝の短い時間の中で簡単に作れるものを知り、いろんなものを作ることができるようになった。
- ② 土曜授業で弁当が必要なった時、小6と同じメニューを自分で作りました。
- ・生徒の食生活に生かしている回答が多くありました。
- ・今年の全国家庭科研究協議会(三重県)で掲示発表をする予定をしています。

提出都道府県名	三重県度会郡					
政令指定都市名						
取 組 市 町 村 名	度会町立 度会小学校					
取組団体・企業名						
取組の名称	茶摘み(3年生)/ブルーベリー狩り(2年生)					
実 施 時 期	4月/7月					
取組内容に該当する 1 かんなで楽しく 2 歌にはんき 3 パランスよく 4 ポリオぎない 5 よくかんで 6 手を流おう						
食育ピクトグラム						
(複数選択可)						
	7 光音に 8 なべ残しを 9 店間しよう 10 余・乗の 11 和女文化を 12 音音を 開催しよう					
取 組 内 容	毎年度会町の特産である茶摘み体験とブルーベリー狩りを実施しています。					
	【3年生】 4月終わりに茶摘み体験をし、7月の工場見学その茶葉を工場で					
	加工してもらい持ち帰りました。					
	◇家でお茶を飲んだ感想です。					

◇家でお茶を飲んた感想です。

- ・苦かったけど、自分たちで摘んだお茶だから飲んだ。
- ・お茶を淹れるために急須を使ってお茶を飲んだ。

各家庭でもお茶を淹れる習慣も少なくなってきているなか、茶摘み体験を経 て、お茶を味わうことができたようです。







【2年生】 7月にブルーベリー狩りに行きました。

ブルーベリー生産者の小野さんから、熟した実の見分け方を教えていただきブ ルーベリーを摘みました。ブルーベリーを食べながら、もらったパックいっぱい に詰めて、家に持ち帰りました。







提 出 都 道 府 県 名	三重県					
政令指定都市名						
取組市町村名	大紀町立大宮小学校					
取組団体・企業名						
取組の名称	4・5年生が地域の方と米作り体験					
実施時期	5月~12月					
X 1/21 //1						
- 40						
取組内容に該当する	1 みんなで楽しく 2 頭にはんを 2 点へよう					
食育ピクトグラム						
(複数選択可)						
	7 元 元 名 文 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元					
取 組 内 容	目 的 米作りの体験を通して、自分の生活の一部として関わりをもつ「米」 に					
	ついて幅広く知り、米作りに関わる人々の苦労や願いに気付き、さまざまな食文					
	化や食生活に関心を持つ。					
	対 象 4・5年生					
	内容					
	4・5年生は、地域の「人とほたるの元気な里地づくりプロジェクト」のみな					
	さんと、田植え、かかし作り、稲刈りを行っています。12月には収穫したお米で					
	「もちつき感謝祭」を計画し、4・5年生が主になり地域の方と全校児童でもち					
	つきをしています。					
	収穫したお米の一部を給食用にいただきました。うるち米は新米のごはんとし					
	て、もち米は中華おこわとして提供しました。					

て、もち米は中華おこわとして提供しました。

給食の放送で紹介し、お米クイズを掲示しました。

放送では、地域の方と4・5年生が育てたお米に ついてと「うるち米」と「もち米」のちがいにつ いて紹介しました。

給食掲示では、4・5年生が収穫したお米と もち米、普段使っている給食のお米と押し麦 でクイズを掲示しました。



提出都道府県名						
政令指定都市名	三重県					
	安 个那十幻町					
取組市町村名	度会郡大紀町					
取組団体・企業名	大紀町立大紀中学校					
取組の名称	「めざせ!食品ロス・ゼロ」川柳コンテスト					
実 施 時 期	10月11日(金)~10月25日(金)					
取組内容に該当する食育ピクトグラム (複数選択可)	1 分んなで楽しく 2 世代は本を 対 3 ガランスよく 4 木りすぎない 5 木くかんで 食べよう (
	7 東音に					
取 組 内 容						
	「食ロス川柳コンテスト」の開催					
	○対象 全校生徒					
	○方法 ・事前に食育だより(食品ロス削減月間、食品ロスの日、食品ロスについての現					
	状)を配布し、短冊を添えて食ロス川柳の募集をしました。					
	・集まった川柳を一覧にまとめ(名前を伏せ)、全生徒に配布。一番良いと思う					
	川柳を投票し、票を集めた順に最優秀賞、優秀賞、佳作、入選を決定しまし					
	た。					
	・同様に教師にも配布し、生徒賞と先生賞を分けて表彰状を贈りました。					
	・表彰作品、その他全員の作品を掲示板に掲示しました。					
	・消費者庁の令和6年「めざせ!食品ロス・ゼロ」川柳コンテストに全校					
	生徒の作品を応募しました。					
	○振り返り					
	クラスで取り組んでいただいたため、全生徒が応募してくれました。					
	食品ロスについてしっかり考え、日頃の自分たちの生活を振り返った作品が					
	たくさんありました。					
	掲示した生徒の作品を読んでいる生徒の姿も多くみられました。					
	この取り組みをきっかけに、日本の食口スの現状を知り、自分たちにできる					
	ことから取り組もうとする意識を持った行動ができることに期待します。					





	学	校	名		志摩市立神明小学校				
取	組	の	名	称	地元の食材を使って志摩市の特産品づくり				
					~はやといも (きんこいも) をそだてよう~ (2年生 生活科)				
実	施		時	期	12月4日 (水)・5日 (木)				
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)		ム	1 かんなで楽しく 2 歌ではんを 3 かくよう						
					7 元 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				
Hπ	火口		т	숬	「キノフ」は、井ツラノエの、毎でも2件し芸(はめしいま)な老で工した士麻				

取 組 内 容

容 「きんこ」は、サツマイモの一種である隼人芋(はやといも)を煮て干した志摩 市の特産品です。栄養価が高く、保存がきくため、昔から志摩の海女さんのおや つとして食べられてきました。

「きんこ」を食べたことがある児童は年々少なくなってきており、「きんこ」や「隼人芋」について学習した後、6月下旬、学級園に隼人芋の苗を植えました。



11 月1日に、育てた隼人芋を収穫しました。12月4日(水)には、収穫した芋を洗い、大きさを選別するなど下準備をし、翌日12月5日(木)に、「きんこ」を作りました。子どもたちは、サツマイモとは違う色をした隼人芋に驚いていました。

その後、大きな鍋で芋を煮ていき、食べ

やすい一口大のきんこに切り分けました。子どもたちは、煮上がった綺麗なオレンジ色の芋を網に並べて「乾きやすくいように間をあけて干そう。」などと声を掛け合いながら、自分たちなりに工夫して取り組む様子がありました。10日ほど天日干しをして、みんなで試食する予定です。

